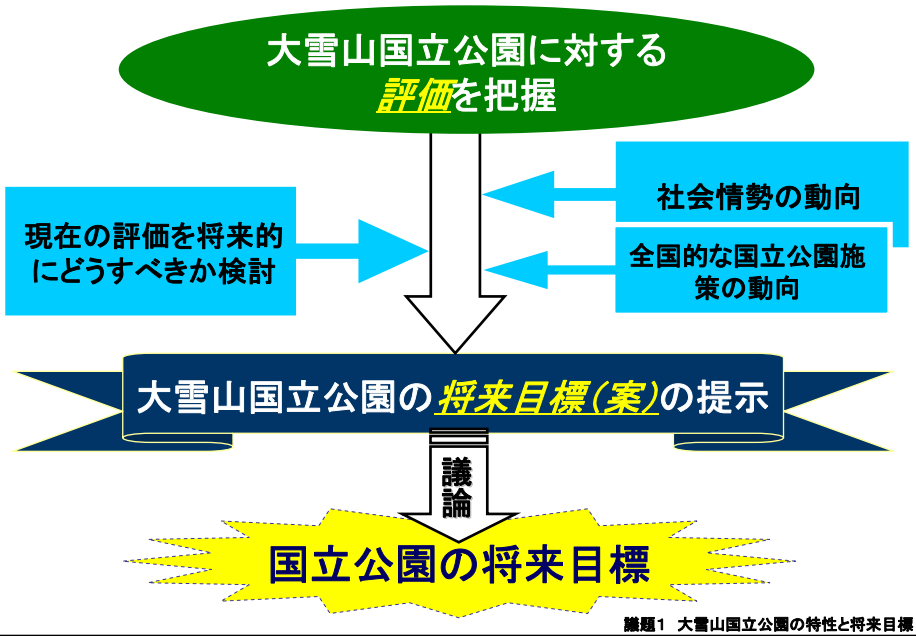
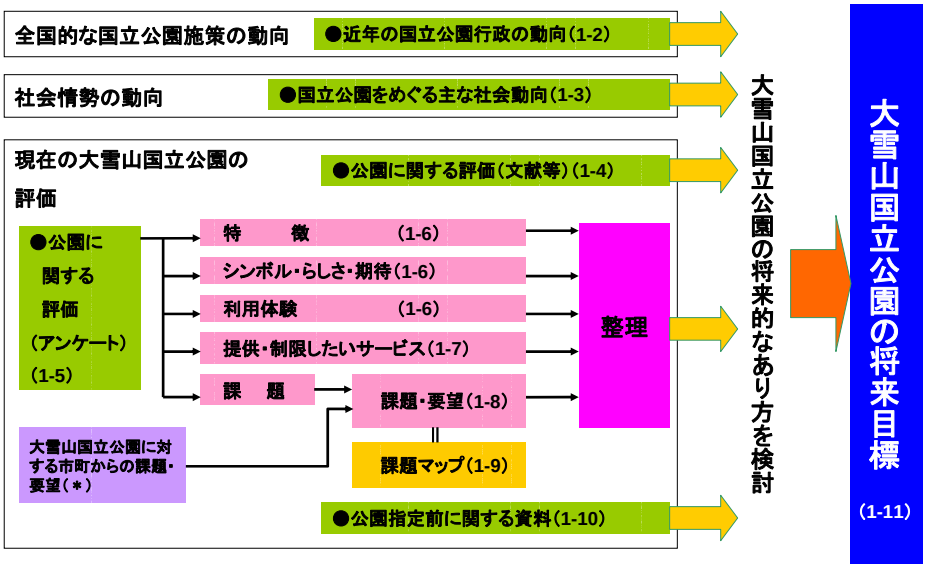
「大雪山国立公園の特性と将来目標について」資料説明

「将来目標」資料説明フロー図



「将来目標」資料説明フロー図
（提示資料からみたフロー）



3　　注）（ ）内は資料NO、※は第1回検討会資料

●近年の国立公園行政の動向（資料1-2）

許認可制度に関する動き

※ 特別保護地区における「動植物の放出等」を規制　…

風景地保護協定制度

※ 阿蘇くじゅう国立公園において第１号の協定が締結

利用調整地区制度

※ 知床、尾瀬、小笠原などで検討中

三位一体改革

※ 国立公園：直轄
※ 国定公園、国設鳥獣保護区、長距離自然歩道：交付金

景観法

※ 景観区域との重複、許可基準への影響　…

4　　議題1　大雪山国立公園の特性と将来目標

●国立公園をめぐる社会動向（資料1-3）

人口減少・高齢化

※ 将来、高齢化の進展と人口の減少が想定

アジアからの来道

※ 台湾、韓国、香港からの来道者の増加

※ ロシア、中国からの来道者は平行線

情報･通信技術の進歩・普及

※ インターネット普及率の増加（世帯で86.8%）

※ 携帯電話契約数の着実な増加

●現在の大雪山国立公園の評価（資料1-4～10）

大雪山国立公園が*どう評価されているか*を整理する

各種検討会での評価
市町史、文献、ガイドブックなどの評価
ホームページ（ブログ）内の評価
（資料1-4）

地元･関係者･利用者への
アンケート調査（資料1-5）

特徴･シンボル･利用体験（資料1-6）
サービス（資料1-7）

市町からの課題･要望

課題･要望（資料1-8）

課題マップ（資料1-9）

過去の文献等による公園指定前の評価（資料1-10）

◆大雪山国立公園に関する評価（検討会・文献・HP調査）（資料1-4）

検討会、文献、ホームページ、ブログにおいて
この国立公園がどう評価されているかを整理

検討会・文献関係

パンフレット	28
ガイドブック	33
自然解説	2
雑誌	15
報告書	6
書籍	20
市町誌	6

HP・ブログ関係

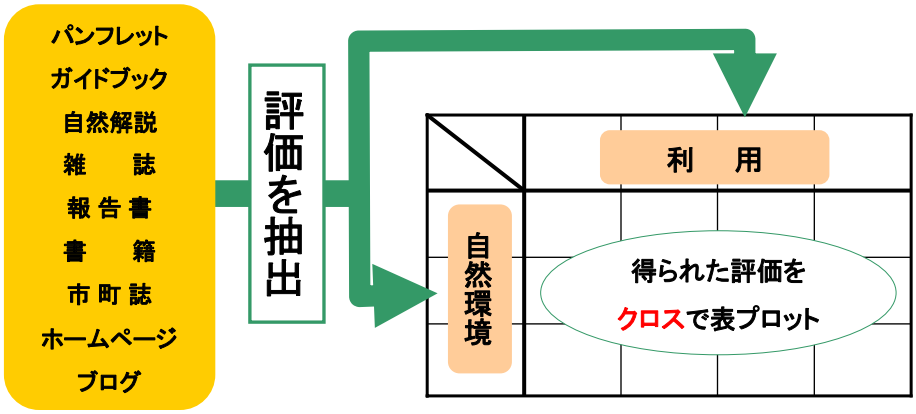
※「地名」や「キーワード」を入力し、検索上位から概ね5件以内で採用

※HP検索は「Yahoo!」、ブログ検索は「livedoor」を使用

（6/8現在）

◆大雪山国立公園に関する評価（検討会・文献・HP調査）（資料1-4）

大雪山国立公園に関する評価の整理方法



◆大雪山国立公園に関する評価（検討会・文献・HP調査）（資料1-4）

得られた評価（キーワード）（主なもの）

	観る	あそぶ/楽しむ	その他
植　物	紅葉　高山植物 原始林　希少種	写真　森を歩く　お花畑 踏み付け	学術参考林 盗掘
動　物	ナキウサギ　固有種 ウスバキチョウ		ヒグマ 生息数減少　採捕
地　理	周氷河地形　山岳 百名山　日本の滝百選 人工物	登山　温泉　キャンプ サイクリング トイレ　マナー　ゴミ 登山道	強風　地質 生態系変化
生態系	分布限界		ツンドラ　動物の馴れ
その他	雪	ロープウェイ　混雑 過剰利用	北海道文化財 ゴミ

注：表中赤字のものはマイナス評価を表す。

◆大雪山国立公園に関する評価（アンケート調査）（資料1-5）

アンケート期間　：　5月27日～6月5日

地元の評価を把握

指導員・PV、山岳会、etc…
利用拠点の観光客
関係機関

公園の特徴・（シンボル）
公園の楽しみ方
公園の課題・問題点
（提供または制限したいサービス）

一般国民の評価を把握

HPを利用

公園の特徴
公園の楽しみ方
公園の課題・問題点

大雪山国立公園の課題および要望の背景として整理

◆大雪山国立公園の特徴・シンボル・利用体験（アンケート調査より）（資料1-6）

（分類）	（主な評価）
● 名称・社会条件・・・・・	日本最大の国立公園　大半が国有地
● 自　然　性・・・・・・・・・	原始の環境や生態系が保存　手つかずの自然
● 地形・地質・・・・・・・・・	カール地形、火山、永久凍土など特徴的な地形
● 動　植　物・・・・・・・・	高山帯の動植物　広大な高山植物群落
● 景　　観・・・・・・・・	山岳・山麓　季節ごとの景観　雄大かつ奥深い景観
● 利　　用・・・・・・・・	スキー　温泉　山小屋　登山道　トイレ　駐車場

◆提供すべきサービス及び提供すべきでないサービス（アンケート調査）（資料1-7）

提供したいサービス

・気象、交通、自然状況などのネット等を通じた情報提供

・人と自然の共存のあり方や、景観、環境教育の充実

・提供できるサービスを明確化

提供したくないサービス

・景観を阻害するような工作物・看板等

・重点的に保護する地区等でのマイカー乗り入れ規制

・安易かつ無責任な情報の発信

・過度な商業活動や宣伝

◆大雪山国立公園の課題・要望等（資料1-8）

課　題

- ・生態系のバランスの崩れ
- ・外来種の侵入
- ・利用、景観、環境についての合意形成
- ・登山道の拡幅・荒廃
- ・排泄物による環境への負荷
- ・来訪者のマナー・モラルの低下

要　望

- ・希少な動植物に対する保全・管理
- ・看板等広告物の基準見直し
- ・自然、景観に配慮した登山道の整備
- ・トイレの整備
- ・過剰利用となっている地域や利用に向かない地域の是正
- ・安全対策の向上

◆大雪山国立公園の課題マップ（資料1-9）

公園全域に係る問題

- 野生生物保護と公園利用の両立
- 登山道の荒廃

地域別の問題

- 山岳遭難の多発
- 公園利用拠点の低迷下
- 山岳トイレ
- 紅葉時期のオーバーユース
- 外来生物

③大雪山国立公園指定前に関する資料
（資料1-10）

参考とした文献	「國立公園」、「太田龍太郎の生涯」

大雪山の評価（主なもの）	
植物	花と実を同時に観る　著大な群落　原始性の大森林景観
動物	熊の馴致が可能　原始的な古い動物　本道の動物保護繁殖地帯
地理	高山植物を多種多様に集めた地形　冬スキーの雪質絶好　山岳・渓谷・湖沼の交錯総合する処　至る処で温泉湧出に恵まれ
景観	自然創造の神秘を満喫　柱状節理の懸壁　瀑水麗々柳枝の雪を帯びて舞うが如し　大自然造化の妙　霊山碧水天下無双
生態系	動植物地質鉱物学上の貴重なる研究資料の豊富な処

15

④大雪山国立公園の将来目標（資料1-11）

評価を把握するための各種情報

●社会動向　●国立公園行政の動向
●文献等　●アンケート調査　●公園指定前の評価
●関係機関からの意見・要望等

大雪山国立公園の将来目標

- 世界自然遺産候補地・ラムサール条約湿地候補地としての資質を維持
- 山岳部の雄大で奥深い景観や山麓部の滝・湖沼等の景観を確保
- 山岳部では地域に応じた登山道管理と利用のあり方を確立
- 場所と季節に応じた適切な利用を促進
- 山麓部の各地に湧出する温泉を有効に活用
- 利用者への適切な情報の提供とマナー向上の促進により快適な利用環境を確保

16